

CQ6-2

表 1. National Institute of Neurological Disorders and Stroke and the Society for PSP (NINDS-SPSP) の臨床診断基準

1. 必須項目

緩徐進行性

40 歳以上の発症

Probable

垂直性核上性注視麻痺と発症後 1 年以内に生じる転倒を伴う姿勢保持障害

Possible

垂直性核上性注視麻痺を認めるか、あるいは垂直性衝動性眼球運動の緩徐化と発症後 1 年以内に生じる転倒を伴う姿勢保持障害の両者を認める

Definite

临床上 Probable あるいは Possible PSP を満たし、かつ病理組織学的に典型的 PSP であること

2. 除外項目

最近の脳炎の既往

他人の手徴候、皮質性感覚障害、局所性の前頭あるいは側頭頭頂葉萎縮

L-ドパ治療に関連のない幻覚あるいは妄想

アルツハイマー型皮質性認知症（著明な健忘および失語あるいは失認）

著明な早期の小脳性運動失調あるいは著明な説明のできない自律神経障害（著明な低血圧あるいは排尿障害）

高度な非対称性のパーキンソニズム

神経放射線学的に関連のある構造異常（基底核や脳幹の梗塞、葉性萎縮）

PCR で確認された Whipple 病

3. 支持的所見

左右対称性の無動あるいは筋強剛で、遠位部より近位部に優位

頸部の異常姿勢、とくに後屈位

L-ドパ治療に対するパーキンソニズムの反応が乏しいか欠如

早期の嚥下障害と構音障害

早期の認知障害、少なくとも以下の 2 項目を含む：無感情、抽象的思考の障害、語彙の流暢性低下、模倣行為あるいは使用行為、前頭葉徴候